

令和元年度第1回鎌ヶ谷市廃棄物減量等推進審議会 会議録

開催日時	令和元年7月25日(木) 午後2時から午後4時まで
開催場所	鎌ヶ谷市本庁舎6階 第4委員会室
委員出席者	伊藤勝、和田光誉、九谷林太郎、皆川洋子、小山与子、矢崎博一、葛山洋子、佐藤宗之、石井恵理(以上敬称略)
事務局出席者	中川聡(クリーン推進課課長)、焼貝浩(クリーン推進課業務係長)、木村我道(クリーン推進課計画管理係) 櫻井博通(クリーン推進課業務係) 小林輝哉(日本環境工学設計事務所)
傍聴者	なし

< 審議内容等 >

1 会議の成立について

鎌ヶ谷市廃棄物減量等推進審議会の委員定数10名に対し、出席委員9名であり、会議は成立した。

2 会議録の署名人の選出について

市内在住委員の名簿掲載順で、出席委員の中から、会議録署名人は九谷委員、皆川委員に決定した。

————— 今回の会議は傍聴者なし —————

3 議題(1) 会長選出

互選により伊藤委員に決定

4 議題(2) 副会長選出

互選により九谷委員に決定

5 議題(3) 鎌ヶ谷市の廃棄物・リサイクルの現状について

事務局説明：配布資料「鎌ヶ谷市の廃棄物・リサイクルの現状について」に基づき概要を説明

質疑応答

委員

リサイクル再商品化の受入先の中国が商品を受け取らないという話があるが、再商品化業者への引渡しはスムーズなのか。

事務局

鎌ヶ谷市ででているリサイクルされるものの処理ですが、中国への排出は行っていません。すべてリサイクル業者へ回す形をとっています。

- 委員 リサイクル業者は、少しキャパオーバーだから、引き取れないという状況ではないのか。
- 事務局 今のところはそのような状況ではないです。
- 事務局 国は市町村の中でそういう焼却に協力できないかというお声掛けをしているが、各市町村ともにそういった設備を持っていないので、なかなか各市町村の受入れは順調にっていないと聞いております。国としてもそういう状況であると聞いています。
- 委員 買物袋は、市内の4店舗でスタンプが貯まるともらえるらしいが、4店舗とはどこか、また増やす予定はあるのか。
- 事務局 店舗は、マルエツ馬込沢店、マルエツ鎌ヶ谷大仏店、オリンピック、コープ鎌ヶ谷店の4店舗がありましたが、今年度からコープ鎌ヶ谷が脱退しておりますので全部で3店舗になっています。今後は参加店舗を増やしていけたらと考えています。
- 委員 市内のスーパーは徐々に増えています。そういう店舗が参加してくれるといいと思いますが、難しい状況なのか。
- 事務局 例えば、イオンは、有料でレジ袋を販売している状況です。店舗によって取組が異なる場合においては、なかなかご協力を得るのが難しいところもあるようです。確かにまだ実施していない店舗もありますので、そういった店舗に参加の声かけをしながら、参加の輪が広がれば、みなさんがこの制度をご利用しやすくなるのかな、というところもあります。しかし、現在、環境省では、レジ袋を有料化しようとする取組をしており、方向性によっては、この事業も難しくなる部分もありますので、両方考慮しつつ対応をすすめていきます。
- 委員 参考に聞きたいのですが、平成30年度の有価物回収量として839トンとあります。通常のリサイクル回収に出される古紙類は、年間どのくらいなのか。また、平成30年度におけるごみ排出量の1日あたりの785グラムの中にリサイクル回収から出てくる古紙類が含まれているのか。
- 事務局 1点目の回収量については、資料がないので改めてご報告します。また、2点目ですが、通常1日あたりのごみ量785グラムには古紙類も含まれています。

委員	レジ袋は、店舗や袋の大きさによって値段が異なるが、レジ袋の代金はどのような仕組みになっているのか。
事務局	金額につきましては、税金のような公的なお金ではなく、各企業が設定した金額になっています。先程も販売という言葉を使わせていただきましたが、お店が袋を売っているという解釈で言うと、そのお店の収入になって、そのお金が例えばレジ袋を作るためのお金になっているかどうかというところは、会社によって違います。各企業の経営上のこともあると考えています。
委員	有料のレジ袋を購入することで環境の問題に貢献できているのかと考えていた。
事務局	そのような信念、取組、考え方のもとに各企業が売っているという感覚よりは、レジ袋の削減という意味合いでそのような仕組みをとり入れているものと認識しています。
委員	プラスチックであるビニール系のごみは、不燃ごみで流れていると思いますが、現在は世界的に廃プラスチックがだぶついているので、処理場も山の状態でキャパオーバーしている。行政では、国内でリサイクル業者に渡している形になっていると思いますが、その他の情報を聞くと、他市の状況としては、廃プラスチックがだぶついているから、きれいにするためには可燃で焼却しなければならないという考えの行政もあると聞いています。鎌ヶ谷市として、そういった状況になった場合は、どのような考えか。
事務局	先程も話が出ましたが、環境省でご協力できないかと言うお声掛けを各地方に流している状況の中で、そこから先の政策的で具体的な対応は、明確になっていないのが現状と認識しています。ですから、簡単に燃やせるから燃やしますとか、相対的な量もわからないところもあるので、一般的な日常の廃棄物を計画的に燃やしているなかにどれだけ組み込めるかというのがなかなか判断として、簡単にやりますとは言えない状況があるようです。そういったことを整理しながら、対策や方向性をだしていく形になってくると思います。

6 議題（４）災害廃棄物処理計画の策定について

日本環境工学設計事務所説明：配布資料「災害廃棄物処理計画策定実施要領書」に基づき概要を説明

質疑応答

委員

9ページから14ページの仮置場の定義の整合がとれていないが、どう考えているか。

設計事務所	仮置場の定義等を明確にして、次回改めてご報告します。
委員	7ページ(3)の災害廃棄物の種類ですが、地震がおきて火事になってしまった場合に炭になった木はどうなるのか。本来であれば一般廃棄物ではなく産廃だが、災害で火事になり炭になった木の場合はその分類になるのか、木になるのかそれとも全然違う分類になるのか一緒に処理してしまうのか。災害で燃え残った木はどのように処理するのか。
設計事務所	確認して次回報告します。
会長	2つありまして、1つは、友人が兵庫県で県の廃棄物を担当していてフェニックスがあつて助かったと言っていた。東京にはあるか。処分の問題がすごく薄い、検討願えたらということ。もう一つは水害での仮置場がうまく機能していたか、この案にあるようにきれいごとはかけるけど本当にうまくいくのか、燃えた炭はどうするのか、できるだけ整然と分別して収集したい。絵にかいた餅ではなくて、心を入れていただきたい。こういう形でやるとこういう整然とした形で集積できるという効果がでるとこういう方策をご提言いただきたい。
設計事務所	可能な限り調べてみます。
事務局	絵に描いてあるようなきれいな形は非常に理想的な形です。確かに東日本大震災の時はこういう考え方は無かったです。ぐちゃぐちゃになってしまって処理に対して大変苦労された経験を基にこういうふうにやってみたらどうかという考え方が生まれてきました。あらかじめこういう計画を作るという事は、いざという時にはこういう考え方でやっていきましょうという心構えのために作るものなので、いままでの経験を踏まえて、できるだけこれに近い形で実際に処理できるようになればいい、というのがこの計画の目的になってくると思います。
会長	そういう事をやるには、実際、どういう事をやったらいいのか、具体的な案がでてくるといい。考え方の提言が出てくるといいのかと考えております。ぐちゃぐちゃになってしまったものの処理の仕方や指針が記載してあると有効に機能できるのかと思います。
事務局	基本的な考え方として、災害時の対応で必要になるものということとは、みなさんに伝わったのかと思います。現状ということでお話しさせていただきますと、鎌ヶ谷市地域防災計画74ページの下段にし尿処理とありますが、ここに災害時のし尿処理が書いてあります。その

裏のページに清掃がありまして、こちらにごみ処理が書いてあり、仮置場について簡単に書かれています。鎌ヶ谷市の災害時のごみの具体的な処理は、この2ページになります。有事の際に、この考え方だけでは災害時には対応できなくなるので、実際に有事の際に機能できるような計画を目指していきたいと考えております。いままでは、いつかあるかもしれない大地震の為の備えという考え方であったかと思いますが、これからは必ずあると思われる大地震のための備えという事で、実際に有事の際に機能できるようなものを目指して、鎌ヶ谷市の特徴にあうような計画を考えていきます。

委員 鎌ヶ谷市は、全体的にインフラ等の道路事情が非常に悪いので、土砂崩れ等、災害がおきた時のメインになるインフラが必要ではないのか。

事務局 そういう事もしっかり考えていかなければならないと思います。しかし、今ある現状のなかで今できる事を考えていかなければいけません。速やかに計画の中にあるような流れですすめていけたらいいのかなと思います。ただ、おっしゃる意味も非常にわかります。大きな震災で道路が通れなくなった時に、避難所とごみ置場をどうするかを整理する必要があります。1から100までは作れないと思います。こういった事を目指すというのが計画になりますので、そういった事を踏まえて、実際発災時にはさらに細かい事も生じるとは思いますが、そういったことも踏まえながら、貴重なご意見をいただいて、参考にしていきたいと思います。

会長 災害用マンホールトイレは何か所設置してありますか。

事務局 3箇所、現在計画的に進めています。

4 議題（5）その他

質疑応答 なし

会議録署名人署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証明するため、次に署名する。

令和元年11月26日

氏名 九谷 林太郎 _____

氏名 皆川 洋子 _____